

# 「審議拒否という無責任」

今日(4月24日現在)の衆議院厚生労働委員会にも日本維新の会を除く野党は出て来ていない。このところ野党は全く法案審査に出て来ない。モリカケ問題での官僚の証人喚問や大臣の辞任などを求めて、それが実現しなければ国会のあらゆる審議に出ないとの言い分だ。

だ。なぜ同時並行で審議出来ないのか?国民はこんな子供じみたサボタージュを許せるのだろうか?

デタラメではないか?普通の社会人としても、社会から干されるほどの、あり得ないデタラメさではないのか?日本維新の会を除く野党は、この無責任な対応を、モリカケ問題に帰すのか?モリカケ問題を追及する事と、法案審査が同時に出来ない理由はどこにも無い。そしてマスコミは、この日本維新の会を除く野党のデタラメさを報道している。国会が空転しているとし

は、現場にいる私達だけだ。現場にいる記者達も現実を見ています。しかし彼らはデスクにメモを送ることと、デスクに認められる記事しか書けない。奇しくも小泉進次郎生がごぼした。「国会担当記者はジャーナリストかと思っていたら、サラリーマンだった」と。これは至言だろう。記者も本音がなかなか書けないのだ。では報道を歪めているのが誰なのかは、想像に難くない。国民は様々な目くらましをくらい続けながらも、誤魔化しきれない真相を感じるだろう。真相が見透かされるのは誰なのか、時間がその答を出すだろう。それは私にもわからない。

もちろん政治家や官僚の不正は明らかにし、断罪しなければならぬ。しかし、モリカケ問題は国政全体に対して重要な問題なのか?不正を糺すとしても、国会でこんなに時間をかける必要があるのか?検察や警察や司法の仕事ではないのか?それに、この問題を理由に国会の全ての議論をボイコットしていいのか?通常国会は普通100本近い法案が提出される。それらは各々国民生活にとって重要な法案ばかり

私達与党と日本維新の会は、こんな茶番に付き合っただけで、法案審査や成立を停滞させるような無責任なことは出来ない。委員長職権で委員会を立て、野党質問時間は何十時間も野党の出席を待ちながら、大臣ら政務三役も、ひたすら委員会席に無為に座り続けても、法案審査を進めている。その審査の中には日本維新の会を除く野党の共同提出議案もある。委員会に誰も来ないのに、答弁担当議員だけ、答弁に立つ。とうとうそれすら放棄するようになった。議員立法でも各党に丁寧な事前説明に回るのに、与党と日本維新の会に事前説明もせずに法案を提出し、答弁すら放棄する。あまりに

か書かない。しかし国会は空転していない。私達与党と日本維新の会が、委員長職権で粛々と審査を進め、議決も進めている。国会は大部分の野党のサボタージュにも関わらず、粛々と仕事をしているのだ。報道は国民の目であり、耳である。しかし一部の影響力が巨大な報道機関は恣意的に、国民に正しい現実が伝わらないような報道を行っている。その歪みが見えるの

は、現場にいる私達だけだ。現場にいる記者達も現実を見ています。しかし彼らはデスクにメモを送ることと、デスクに認められる記事しか書けない。奇しくも小泉進次郎生がごぼした。「国会担当記者はジャーナリストかと思っていたら、サラリーマンだった」と。これは至言だろう。記者も本音がなかなか書けないのだ。では報道を歪めているのが誰なのかは、想像に難くない。国民は様々な目くらましをくらい続けながらも、誤魔化しきれない真相を感じるだろう。真相が見透かされるのは誰なのか、時間がその答を出すだろう。それは私にもわからない。

は、現場にいる私達だけだ。現場にいる記者達も現実を見ています。しかし彼らはデスクにメモを送ることと、デスクに認められる記事しか書けない。奇しくも小泉進次郎生がごぼした。「国会担当記者はジャーナリストかと思っていたら、サラリーマンだった」と。これは至言だろう。記者も本音がなかなか書けないのだ。では報道を歪めているのが誰なのかは、想像に難くない。国民は様々な目くらましをくらい続けながらも、誤魔化しきれない真相を感じるだろう。真相が見透かされるのは誰なのか、時間がその答を出すだろう。それは私にもわからない。

Facebookでも活動報告を行っています。(Facebookアドレス) <https://www.facebook.com/anamiyoichi>

皆様のご意見をお聞かせください!お待ちしております。

あ な み よ う い ち

衆議院議員

# 穴見陽一

## 後援会 事務所

〒870-1133 大分市大字宮崎867-18 TEL.097-567-1319 FAX.097-567-2010

<http://www.anamin.net> E-mail:info@anamin.net

